

タイトル		Mirror Mirror: A Book of Reverso Poems																												
著者（文・絵）		Marilyn Singer & Josee Masse																												
出版年		2010	出版社	Dutton Books for Young Readers																										
翻訳版		N/A																												
総語数	1104 語	ページ数	32 ページ	YL レベル	N/A																									
あらすじ																														
1つのストーリーではなく、おとぎ話を詩にした作品集です。詩のタイトルは以下のとおりです（全 14 編）。カッコ書きの日本語タイトルはもとのおとぎ話何かわかりやすいように筆者が書き加えました。最初と最後はまえがきとあとがきの詩です。 In Reverse（まえがき） Cinderella’s Double Life （シンデレラ） The Sleeping Beauty and the Wide-Wake Prince （眠りの森の美女） Rapunzel’s Locks （ラプンツェル） In the Hood （赤ずきんちゃん） The Doubtful Duckling （みにくいアヒルの子） Mirror Mirror （白雪姫） Full of Beans （ジャックと豆の木） Bears in the News （三匹のくま） Have Another Chocolate （ヘンゼルとグレーテル） Do You Know My Name? （ルンペルシュティルツヒェン） Disappointment （かえるの王様） Longing for Beauty （美女と野獣） The Road （あとがき）																														
紹介																														
この絵本は、よく知られた童話をもとにした詩の作品集です。見開き 2 ページに対し 1 話の構成で、どのお話も左右で対になった 2 つ短い詩からなっています。左右の詩は、左上と右下から読むと同じ文章なのですが、上から読むと左右で意味が変わる形式で（例を参照）、作者はこれを reverso poem と呼び巻末で解説をしています(和訳は筆者の試訳)。																														
<table><tr><td>例)</td><td><u>Left</u></td><td><u>Right</u></td><td><u>左</u></td><td><u>右</u></td></tr><tr><td></td><td>A cat</td><td>Incomplete:</td><td>ネコ</td><td>何か足りない</td></tr><tr><td></td><td>without</td><td>A chair</td><td>なしの</td><td>椅子</td></tr><tr><td></td><td>a chair:</td><td>without</td><td>椅子</td><td>なしの</td></tr><tr><td></td><td>Incomplete.</td><td>a cat</td><td>何か足りない</td><td>ネコ</td></tr></table>						例)	<u>Left</u>	<u>Right</u>	<u>左</u>	<u>右</u>		A cat	Incomplete:	ネコ	何か足りない		without	A chair	なしの	椅子		a chair:	without	椅子	なしの		Incomplete.	a cat	何か足りない	ネコ
例)	<u>Left</u>	<u>Right</u>	<u>左</u>	<u>右</u>																										
	A cat	Incomplete:	ネコ	何か足りない																										
	without	A chair	なしの	椅子																										
	a chair:	without	椅子	なしの																										
	Incomplete.	a cat	何か足りない	ネコ																										

「たけやぶやけた」のような回文と少し似ていますが、これは作者が思いついたスタイルで、二つの異なる視点を提示できる形式として創作意欲をそそられたとのこと。

例えば、絵本の表題にもなっている *Mirror Mirror* はご存知白雪姫の有名なフレーズ「鏡よ、鏡」ですが、白雪姫の詩は、一つが白雪姫の視点、もう一つは継母の視点になっています。立場が変われば見方も変わりますが、おとぎ話を読み解くと残酷さや欺瞞を見出すことも多々あり、そういった物語の深層に気づく機会にもなります。ちなみに鏡に映った姿は左右が逆になりますよね。光と影のコンビネーションをイメージさせるイラストもやはり左右で別の視点を表しています。

指導ポイント・授業活用例・学生の声など

【注意すべき英語表現ほか】

英語では単語の並べ方で意味が変わっていくという特徴を再度認識する良い材料になります。ただ、そのために行替えを頻繁に使っているのも、読みにくいとを感じる読者もいるでしょう。英語自体も平易な英文とはいいいがたい部分もあります。しかし細かい文法解説をしてしまうと本来の楽しみを奪ってしまい、逆に敬遠されてしまうことになりかねません。多読の授業では、物語やノンフィクションとは異なる形式の作品を時には楽しんでみるということに主眼を置いて紹介するとよいでしょう。

【授業活用例】

➤ 詩の創作

前述のようにそれぞれの詩は、平易な英文とはいいいがたい部分もありますが、どれもよく知られた童話なので、次はどの話かな？どの場面が取り上げられているかな？などと興味が湧くはず。授業で使うなら、全部の詩をじっくり読むより、自分が好きなお話をいくつか選んで、その詩を味わった後、それをヒントにしながら詩を作成してみるとよいでしょう。Reverso poem は難易度が高いですが、各自が読んだお話を題材に折句(acrostic poem)や五行詩(5 line poem)を作るという課題を出すと、多くの学生たちが、動詞や形容詞の形や音の響きに意識を向け、言葉選びの創造性を楽しんでくれます。

関連作品・参考 URL

第1弾が好評を博したらしく、同じく童話をテーマにした第2弾 *Follow Follow: A Book of Reverso Poems* (2013)と、ギリシア神話をテーマにした第3弾 *Echo Echo: Reverso Poems about Greek Myths* (2016)が出版されています。

備考

本稿の一部は大修館『英語教育』2019年7月号(Vol.68, No.4)の口絵「絵本を探しに」[4]の原稿を大幅に改訂したものです。

--

(文責：小林めぐみ)